

広報



たかのす

No. 279・49・1・15

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

☎(2)-1111

発行日 毎月1日・15日

印刷所 (株)成文社印刷所

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは 総務課広報係へご連絡ください。



飛躍

町民のみなさまには、新しい年に力強いスタートを切ったことと思います。

昨年来のエネルギー危機、物価の高騰など、ことしはさらにきびしい年になるようですが、こんなときこそ地についた計画をたて、目標に向かって努力する、やりがいのある年ではないでしょうか。

(写真は、圏域体育館で)

職員は親切、明朗、迅速、果敢に

町政充実の年に

仕事始めで町長が語る

出川町長は、仕事始めの四日午前九時から、全職員を前に年頭の所感……
……を述べました。あいさつの中で「今年はきびしい年だが、職員は住民の……
……要望や期待に充分そえるよう自己研さんし、仕事には真剣に取り組ん……
……でほしい。」など、次のように述べました。



▲全職員を前に年頭のあいさつをする出川町長

昨年の石油問題や経済状況から考えると、今年は経済の成長停滞は勿論、産業構造の変化等、いわゆる国民生活の悪化が予想され、経済状況は昭和四十六年代におこむ様相を呈しています。

本町でも、今年度は橋梁、道路事業に対する要望が大きくなり、予算中大きなウェイトを占め、相当窮迫した財政になるものと思われる。

さいわい本町は、昨年中に学校や福祉施設、体育館など主な施設の完成をみましたし

現在、建築中の国民会館など今年はこの充分なる活用主体が向けられよう。

また、社会福祉関係では昨年の竜巻、西の完成で、町営保育所が四カ所設置になっていますが、さらに西保育所の増設、東保育所の認可保育所としての裏づけなど保育園関係の充実を図るとともに、身障者や老人対策などは、これまで以上にきめこまかい手をさしのべていきたい。

産業関係では、ここ四五年度の生産調整政策で米の生産

が減っていますが、世界的に食料不足が叫ばれている今日当町は食料供給基地の役割を果さなければならぬことを自覚し、予想される生産資材の高騰、供給減などによる地力の低下を、家畜廃棄物などの利用により土地生産力を高めると同時に、畑作の推進拡大を図り、地域農業の振興に積極的に取り組んでいきたいと考えます。

また、町民の健康増進として予防医学分野である町民皆検診、保健衛生思想の普及にとりくむことによって健康診断、予防検査など予防医学に力点を置き、全町民の健康管理の万全を図っていききたい。

公害問題では、原因の探究と防止に力をいれたい。

米代川流域のカドミ汚染問題については、県の分析、健康診断など具体的資料に基づいて実態把握のうえ、対策をたてたいと考えます。

国民年金

今月から

年金額が二倍半

掛け金も月九百円に

提出制国民年金の額が、今月から約二倍半になります。

これは昨年の秋、法律が改正されたときに決められていたもので、例えば十年年金（老齢年金）の額は月五千円から一万二千五百円に、障害年金や母子年金の額も最低保障が月八千四百円から二万円となり、それぞれ三ヶ月の支払額から増額されて支払われ

ます。

なお、この年金額の引き上げに伴って、掛け金も引き上げられ、定額分の掛け金は月五百五十円から九百円に、附加年金の掛け金は月三百五十円から四百円となりますから、おまらがえのないように。

教育関係では、学校施設の完備にそって、教育環境、教育内容の充実に向上をめざしたいと考えます。

いずれにしても、町政に対する住民の要望や期待がますます高くなっている現在、職員のみならず、それに積極的にしかも充分に応えるためにも、町の施策は勿論のこと職員の一一致協力による真剣な取り組みが必要で

そのためには、職員個々の研さんによって教養を高め、知識の啓発、吸収を常に心がけ住民の立場にたった仕事を望みます。

四十九年は、町内外ともにいい状況下に置かれますので、これまでの経験の積みかさを大いに活用し、親切、明朗、迅速、果敢をもって事にあたってほしい。――などを述べました。

税の窓

納税証明の請求はおはやめに

例年一月から三月までは、土木建設業者の許可や借入申し込みの添付書類として、納税証明の請求をなさる方が非常に多くなります。

ご承知のとおり、二月十六日から三月十五日までは、所得税の確定申告や贈与税の申告等のため、税務署では一番忙しい時期となっております。

この時期に納税証明を請求されますと、いろいろご迷惑をおかけすることとなりますので、なるべくお早目に請求されるよう、お願いいたします。

町長 日誌

12月16日～12月31日

- 16日 農近ゼミ、美友同好会、技能学校合同集会に参加
 - 17日 議会常任委員会出席 大館北秋会秋田市議会常任委員会出席 北秋中央病院運営委員会および工事委員会
 - 18日 商工青年部集会に参加
 - 19日 議会常任委員会出席 議会常任委員会出席 鷹巣ロータリークラブ出席
 - 20日 鷹巣医師会と予防接種の打ち合わせ会
 - 21日 町議会本会議
 - 22日 25日 東京
 - 23日 全国町村雪害対策協議会定例会
 - 24日 四十九年度政府予算に対する陳情
 - 25日 町営スキー場開き 木曜会出席
 - 26日
 - 27日
 - 28日
 - 29日
 - 30日
 - 31日
- 議会 日誌
- 12月16日～12月31日
- 17日 総務常任委員会 教育民生常任委員会 産業経済常任委員会 土木常任委員会 総務常任委員会
 - 18日

出初式で無火災祈願

村上、成田両氏に有功章

鷹巣消防団の出初式が四日行なわれました。

当日は、午前九時から鷹巣神社に無火災を祈願、引き続き十時二十分から町内パレードにうつり、米代町商工会館前で出川町長、成田消防長、村上団長の観閲を受けました。

このあと体育館で式典を行い、次の方に有功章、永年勤続表彰が贈られました。

なお、ことは石油不足から消防ポンプのパレードを中止し、広報車一台が参加、節約ムードも盛りあげました。

有功章 村上鉄治(鷹巣) 花田 満(沢口)

三十年勤続表彰 齋藤福蔵(栄)

二十五年勤続表彰 奈良田富士郎、太田貞雄(以上綴子) 村上九助(栄) 畠山幸三(沢口)

二十年勤続表彰 桜庭茂(鷹巣) 戸沢一二三、熊谷徳男 戸沢文雄(以上七座) 小塚惣一郎、近藤利左門(以上沢口)

十年勤続表彰 畠山彦一郎(七日市)

七年勤続表彰 河田堅治、杉下広(以上鷹巣) 佐藤辰正(坊沢) 高橋恵一、高橋利男 山内文雄、高橋彰(以上綴子) 中島清一、神成清一(以上沢口)

優良団員表彰 成田庄市、川村鉄夫(以上鷹巣) 成田捷太郎(七座) 永井修二郎(坊沢) 武内光郎、畠山利夫(以上綴子) 岩谷信夫(栄) 佐藤政美、神成幸男(以上沢口) 長岐康弘、畠山克美(以上七日市)

▶出初式のパレード



危険物取扱者 保安講習会

県の消防防災課では、危険物の取扱従事者を対象にして保安講習会を行ないます。

講習日 二月六日

講習場所 鷹巣広域体育館

申込期日 一月十六日から二十六日まで(但し、定員になり次第、締め切ります)

申込 先鷹巣阿仁広域消防本部

なお、講習テキストは、全国加除法令出版(株)の「危険物取扱者保安実務指針」を使用しますが、不明な点は、秋田県民生部消防防災課にお問い合わせください。

新年書きぞめ大会

新年書きぞめ大会が、二日町内四会場に二百三十名が参加して行なわれた。

各会場の入賞者は次のとおりです。

【鷹巣会場】

公民館長賞 高坂美紀子、長岐郁子、畠山誠、三上恵子、相馬昌幸

入選 村上能之、皆川明子 戸沢明徳、畠山寿、松橋成美、三上美智子、相馬弘子 かつらみ、相馬美代子 佐藤美幸、佐藤司、岩川いづみ、戸沢一徳、畠山あけみ、岩川みどり、長岐瑞彦

菊地みどり、黒滝隆志、鎌田幸蔵、沢田陽子、佐藤せい、佐藤武夫、三浦あい子

【栄会場】

公民館長賞 小坂由紀子、羽沢斉志、松尾和香

入選 小坂キサ、佐藤徳治 五十嵐寛一、藤谷弥、藤島実江子、松橋敏明、松岡繁則、岩谷智子、小坂滋藤、小坂竜也、昭内一恵、柳谷慎子、金沢久美子、石上美奈子、松尾卓見

公民館長賞 三浦尚子、長

【坊沢会場】

公民館長賞 三浦尚子、長



▲新年書きぞめ大会＝坊沢会場

学生募集案内

県立衛生看護学院、県立農業短期大学および自治医科大学では、次の要領で学生を募集しています。

【県立衛生看護学院】

崎久美子、戸島淳子

入選 藤島協、高坂省吾、津谷浩徳、永井里佳、永井裕子、佐藤良子、戸島章子 佐藤寿美子、津谷厚子、佐藤修、佐藤武夫

【綴子会場】

公民館長賞 成田恵美子、三沢千穂子、今川康子、太田昭博、高橋利代子

入選 小松美智子、佐藤明美、小松裕幸、三沢昌子、佐藤範子、藤島るり子、高橋将樹、田川由香里、高橋洋子、堀井泰蔵、高橋昭子

公民館長賞 成田恵美子、三沢千穂子、今川康子、太田昭博、高橋利代子

入選 小松美智子、佐藤明美、小松裕幸、三沢昌子、佐藤範子、藤島るり子、高橋将樹、田川由香里、高橋洋子、堀井泰蔵、高橋昭子

募集人員 保健科六十名、看護科六十名(昼間三十名、夜間三十名)

修業年限 保健科一カ年、看護科昼間二カ年・夜間三カ年

願書提出期間 一月十一日と三十一日

試験日 保健科二月十二日

産業経済常任委員会 カドミウム鉍害調査特別委員会

19日 総務常任委員会 教育民生常任委員会 産業経済常任委員会

20日 総務常任委員会 教育民生常任委員会 第十一回町議会定例会(最終日)

十三日、看護科二月十四日、十五日

願書提出先 秋田市千秋久保田町六番十号 秋田県立衛生看護学院

【県立農業短期大学】

募集人員 農業科六十名、畜産科三十名、農機工学科三十名、農村生活科三十名

修業年限 二カ年

願書提出期間 一月十六日と二月五日

試験日 三月十一日

願書提出先 南秋田郡大潟村官有地 秋田県立農業短期大学(推せん入学可)

【自治医科大学】

募集人員 百名

願書提出期間 一月二十八日と二月六日

願書提出先 秋田市山王四丁目一番一号 秋田県庁内環境保健部医務課

試験日 第一次(二月十七日、十八日)、第二次(三月十日、十一日)

なお、不明な点や詳細については、それぞれの願書提出先におたずねください。

